

取扱説明書 (かんたん槽OF NK-60)

本日は、当日海センター オリジナル”かんたん槽”をお買い上げ頂き誠に有り難うございました。末長くお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。なお、お読みになられた後も、大切に保存されますようお願いいたします。

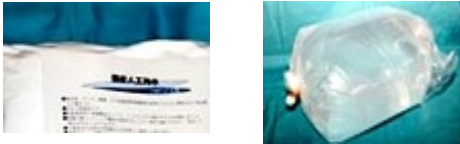
-特長-

日海センターオリジナル”かんたん槽OF NK-60は、オーバーフロー式 オールインワン水槽です。揚水ポンプ、ヒーター、硝酸塩還元塔もろ過槽内に収められている画期的な水槽です。濾過室開口部が広いのでメンテナンスも簡単です。

<1> 水槽 及び 各部品の名称 フルセットに含まれる その他の商品名を確認してください。
(図1 と下記参照)

フルセットに含まれるその他の商品

人工海水 又は 新/種海水



水槽に入れる海水です<2>参照

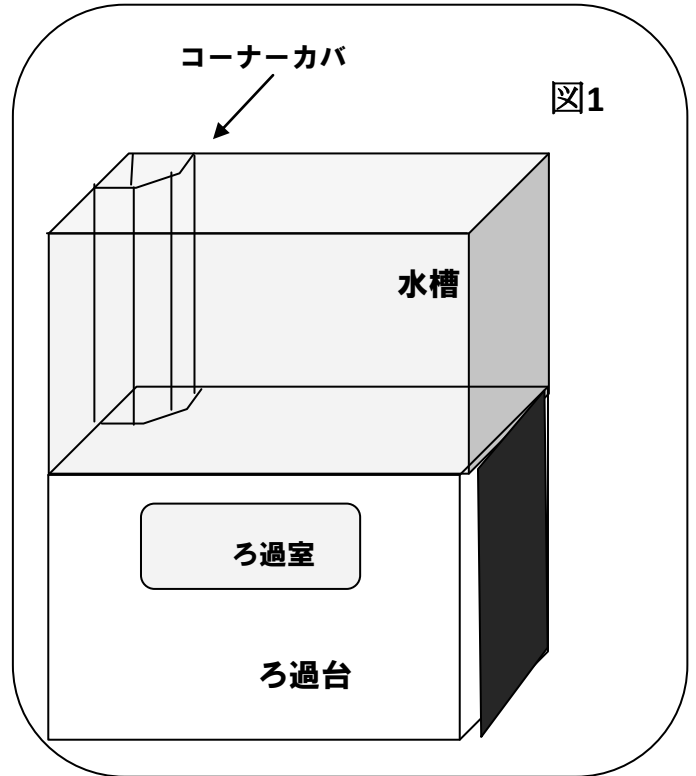
電子サーモ ヒーター



ろ過室に入れます <2> (3) 参照

コーナーカバ

図1



バクテリア

活性炭

種混合ろ材

新混合ろ材



ろ過BOXに入れます

<5>参照

リダクションバイオ デニバイオチップ ハイブリットボール

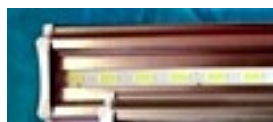


硝酸塩還元塔に入れます

<3>参照

底砂

LED照明



水槽に入れます

点灯は12時間が目安です

水温計 比重計



水質管理に使います

<2> 水槽ろ過槽を洗浄し 揚水ポンプ、ヒーター、配管 をセットします

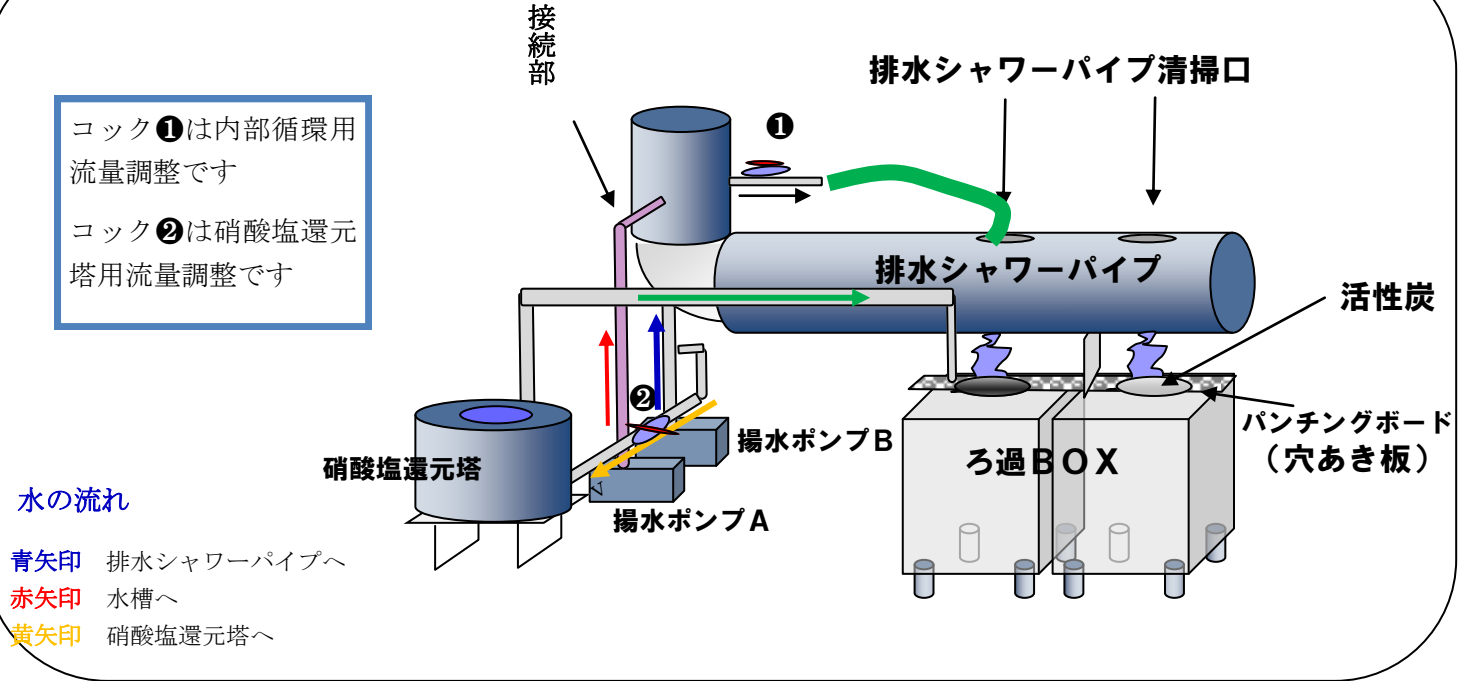
(1) 水槽本体 と ろ過室内部を 水道水で濡らしたタオル等で かるく洗浄します。

水槽 セット場所は 直射日光が当たらない所にして下さい。直射日光が当たりますと紫外線により、水槽は劣化、ひび割れ漏水する恐れがあります。

(2) 揚水ポンプ周辺の配管は 発送の際 安全のため はずしてあります場合がありますので図2を参考に組み立ててください。

二つある揚水ポンプは 同じですので、どちらが 揚水ポンプA でも Bでも構いません。

図2



(3) ヒーター (ヒーターカバーをして下さい) を 硝酸塩還元塔の下に横にして置きます。(図3参照)

センサー (赤線：実際には赤いコードではありません) はろ過槽底板にキスゴムで取り付けてください。

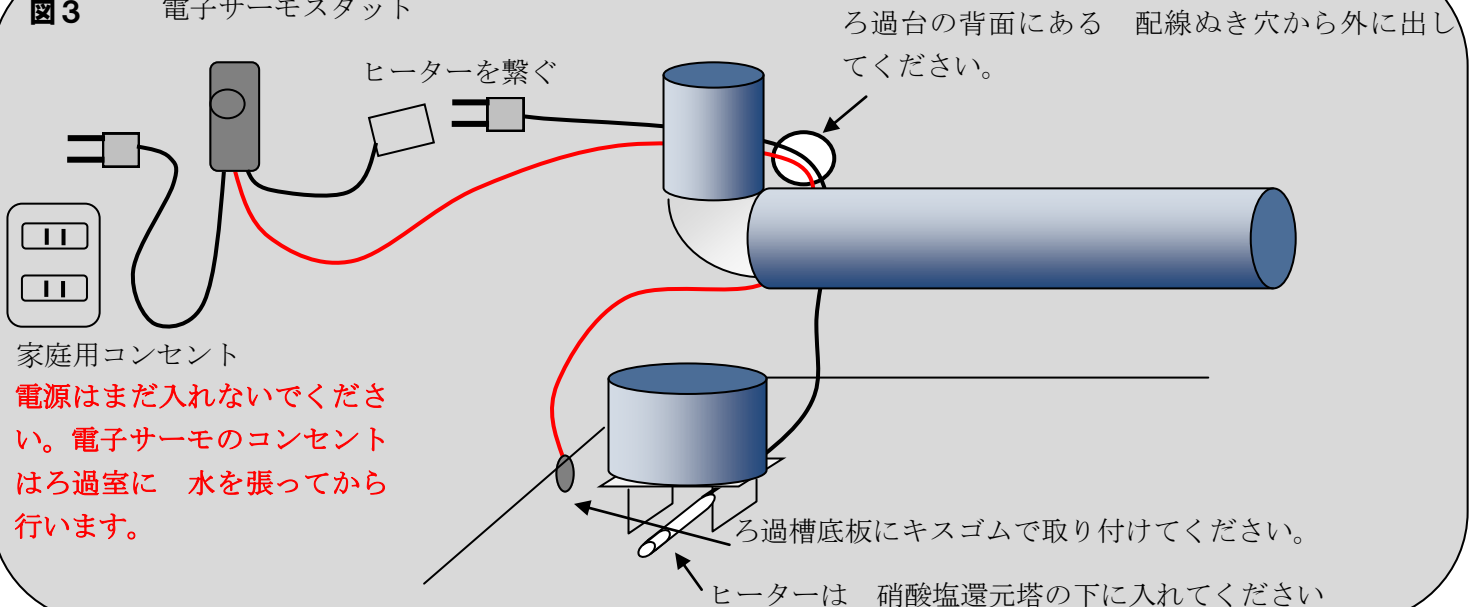
(図3参照) ヒーターを電子サーモと接続します。電子サーモの電源はまだ入れません

ヒーターは必ずヒーターカバー付のもの 又は ヒーターカバーに入れて御使用ください。

カバー無しでの御使用は、熱により水槽が変形、ひび割れ、漏水し、火災発生の恐れがあります。

図3

電子サーモスタット



<3> 硝酸塩還元筒 をセットします

茶碗のような容器にハイブリットボールとデニバイオチップを袋からだします。そこにリダクションバイオ（液体）を加え 全体に染み込むよう かるく混ぜ合わせます。それを 硝酸塩還元筒のフタを開け 中に入れ込んでください。（入れる順番はありません）

硝酸塩還元塔用流量調整用のコック② で 毎分 2～5ℓに調整してください。図2参照。

<4> 水槽に海水をセットします

■ 粉末の人工海水を使わずに すべて種水や溶いた新海水でお用意されている場合はそのまま 水槽に入れてください。
入れる量は図4を参考にしてください。

■ 人工海水と 種水で ご用意されている場合 水槽に 30ℓの水道水と 人工海水30リットル分をいれ手で良く混ぜぬるま湯を加えながら 比重を1.022 ～1.025になるよう調整し 中和剤を加えます。

次に 袋の中の種海水40リットルのうち 30リットルを水槽にいれます。
残りの10リットルは 図4を参考に 微調整して ください。残った海水は、取り置きができませんので 処分してください。

<5>ろ過BOX×2個 をセットします

（図5参照）ろ過BOXにサランネットから順に入れてください。ろ過槽3個とも なるべく平均に入れてください。 ”パンチングボード（穴あき板）”は ろ過BOXの上部分に乗せてください。

活性炭は”パンチングボード（穴あき板）”の上で、流れが当たる箇所に置いてください。

ろ過槽にバクテリア（商品名’スーパーバイオ’）を活性炭をよけ ろ材に直接入れ 10分ほど経ってから 揚水ポンプの電源をいれ水を循環してください。この際、水槽の水が濁る場合がありますが問題ありませんので 次の工程を進めてください。濁りは数時間で透明に戻ります。

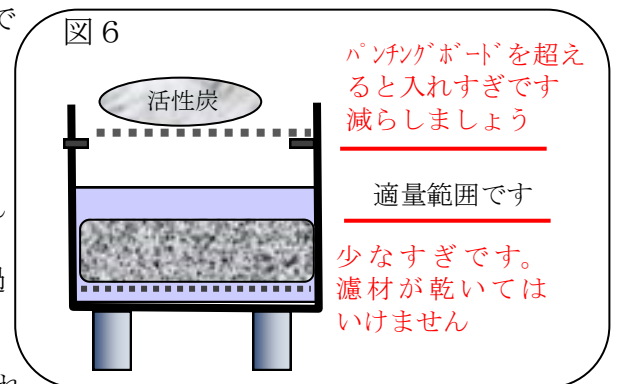
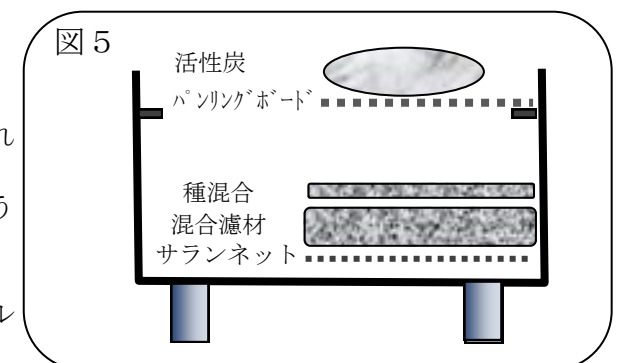
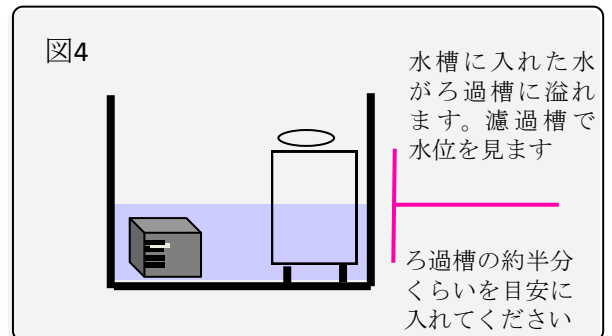
ろ過ボックス内の水位が適量範囲にある事を確認してから ヒーター（サーモスタット）の電源を入れてください。

電源が入っているヒーターとセンサーは絶対に水中から出さないで下さい。破損、火災の恐れがあります。

水温計を水槽内に取り付け 底砂を水槽に入れ LED照明をセットします。（水が濁っていてもかまいません）

以上でセット完了です。

水槽の水が透明になり 季節にもよりますが 水温が設定温度まで 上昇しましたら、生体を投入してもOKです。



<6>水交換 や ろ過室のメンテナンスについて

■この水槽は オーバーフローろ過システムなので 水位は ろ過槽でチェックします。(水の蒸発等で水量が減ったとき、また、補充をして、水量が増えたときなど、水槽の水位は変わらず、濾過槽の水位が変動します) ろ過槽の水位は図6を参考に 水槽側の水を加減して調整してください。また、蒸発等で、水位が下がった時も、図6を参考に水槽側に加え水をして再調整してください。

■水交換について

水交換は2~4週間に一度5~10リットル以内。 その際、水と一緒に底の沈殿物を専用のホースポンプで抜き出してください。水交換時 必ず揚水ポンプの電源を切ってください。電源をいれたままですと、濾過槽の水位が減り、揚水ポンプの空回転 ヒーターの空焚き、火災のおそれがあります。

■ろ過材のメンテナンスについて

常時飼育されている生物の大きさ、数、あるいは餌のあげる量等のさまざまな条件に伴い、ろ過材のメンテナンス時期は一概にはいえませんが、3ヶ月位 延ばしても6ヶ月に一回はろ過材のオーバーホールを行いましょう。オーバーホール方法は、その時期が来ましたらスタッフにお訪ねください。

▲警告

--警告--

*水槽を移動するとき、ろ過材、水等をはったまま持ち上げたり移動させないでください。
本体が歪み漏水する恐れがあります。

*ストーブやヤカンなど熱いものを、水槽に近づけないでください。
水槽やろ過槽をシンナーやその他薬品で拭いたりしないでください。
熱や薬品により変形、ひび割れ、漏水する恐れがあります。

*水槽やろ過槽にご自分で穴を開けたり、加工を加えないでください。
本体の強度が低下し、破損、漏水の恐れがあります。

*セット場所は直射日光が当たらない所にして下さい。
直射日光が当たりますと紫外線により、水槽やろ過槽は劣化、ひび割れ漏水する 恐れがあります。



ゆめ ゆたかさと やさしさ

194-0037
東京都町田市木曽西4-5-1
TEL (042) 791-0301
FAX (042) 791-0384
URL nikkai-center.com
オンラインショップ
<http://nikkai-web.com/>